

稲作だより

第 13 号
稲わら腐熟推進編

令和4年10月13日発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329（稲作担当）

来年度の初期生育確保のため ワキ防止に攻めの対策を！

移植後低温で推移した今年は、気温が回復した6月下旬以降にワキ（土壤の異常還元）が強くなった圃場がありました。

ワキが強まると、根張りが悪くなり、初期生育が取れず収量や品質等に影響が及びます。

今秋のうちにワキの原因となる稲わらを腐熟させ、ワキにくい圃場づくりに取り組みましょう。



写真 稲わら腐熟の有無による根の比較
(R3 庄内農業技術普及課より)

※作土深改善：春にサブソイラによる耕起を実施

○稲わら腐熟対策

<秋耕>

○方法

刈取直後～10月下旬に深さ **5cm以下** で浅く耕うん
深く起こしすぎると春先にぬかる原因になる。

○メリット

コストが安い

○圃場選定のポイント

春先にぬかるみにくい圃場を選ぶ
圃場のぬかるみが気になる場合は、圃場中央部等のぬかりにくい部分のみ実施

<石灰窒素散布>

○方法

刈取直後～10月下旬に **20kg/10a**（つや姫は **10kg/10a**）を目安に散布

※次作の減肥について検討が必要な場合があります。

○メリット

春作業への影響が少ない

○圃場選定のポイント

「つや姫」栽培圃場のうち、次のいずれかを満たす場合は散布を行わない

- ・タンパク値が毎年7.0を超える
- ・全量基肥栽培を行っている

AgriLook でつや姫の刈取適期（早限・晩限）が確認できるようになりました！

地図上で圃場ごとの刈取適期が確認できます。
刈遅れによる品質低下防止にご活用ください。

ID : mogami パスワード : mogami123

URL: agrilook-info.jp/yamagata_pref/index.php

